



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエシイホールディングス株式会社  
 コード番号 6298 URL <https://www.yac.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務統括本部長 (氏名) 畠山 督 TEL 042-546-1161  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,279	△1.3	△1	—	10	—	△23	—
2020年3月期第1四半期	5,351	0.9	△378	—	△409	—	△458	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △43百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △458百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△2.54	—
2020年3月期第1四半期	△50.92	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	40,448	13,930	33.8
2020年3月期	39,135	14,065	35.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 13,686百万円 2020年3月期 13,818百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2021年3月期の配当予想につきましては未定としております。なお、配当予想額は開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響が続いており、現段階において適正かつ合理的に算出することが困難であるため、未定としております。

なお、今後、業績の予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	9,758,947株	2020年3月期	9,758,947株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	703,031株	2020年3月期	702,714株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	9,056,153株	2020年3月期1Q	9,012,439株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響が続いており、現段階において適正かつ合理的に算出することが困難であるため、未定としております。

なお、今後、業績の予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な蔓延の影響により、国・地域による濃淡はあるものの、日本を含めた世界中で経済活動の大幅な制限を余儀なくされ、急激に減速しました。

当社の属する業界につきましては、FPD業界は、主な市場である中国において都市封鎖等による生産計画の遅延が発生しました。その後、経済活動の再開に伴い持ち直しつつあるものの、日本を含む外国からの自由な渡航は依然として制限されております。半導体業界におきましては、車載や産業機器で大幅な減少が見られますが、新常态への生活様式の変化に伴い、在宅勤務関連や5G、AI、IoT関連の需要が見込まれております。

このような経済状況のもとで当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と販売に努めてまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高52億79百万円（前年同四半期比1.3%減）、営業損失1百万円（前年同四半期は営業損失3億78百万円）、経常利益10百万円（前年同四半期は経常損失4億9百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失23百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億58百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## (メカトロニクス関連事業)

前年度末における世界的な経済活動停止からの回復の動きにより、総じて弱いながらも回復基調で推移しました。パワーデバイス向けレーザーアニール及びスマートフォン向けテーピング装置が好調に推移しました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は24億52百万円（前年同四半期比33.7%増）となり、セグメント利益は1億23百万円（前年同四半期はセグメント損失80百万円）となりました。

## (ディスプレイ関連事業)

主な市場である中国において、都市封鎖等による生産計画の遅延が発生した影響により、業績は低調に推移しました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は11億34百万円（同31.3%減）となり、セグメント損失は1億38百万円（前年同四半期はセグメント損失2億61百万円）となりました。

## (産業機器関連事業)

国内向けクリーニング市場は、営業自粛や在宅勤務化の影響を受けました。中国を中心として展開している海外向けにつきましても同様で、国内、海外とも大変厳しい環境となりました。

これらの結果、産業機器関連事業の売上高は2億23百万円（同50.3%減）、セグメント損失は47百万円（前年同四半期はセグメント損失14百万円）となりました。

## (電子機器関連事業)

人工透析装置の販売が好調に推移し、業績は底堅く推移しました。

これらの結果、電子機器関連事業の売上高は14億68百万円（同3.7%増）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期はセグメント損失43百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は318億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億円増加しました。主な増加要因は現金及び預金21億72百万円、仕掛品4億11百万円であり、主な減少要因は受取手形及び売掛金16億95百万円であります。固定資産は85億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加しました。その結果、総資産は404億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億13百万円の増加となりました。

## (負債)

流動負債は193億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億73百万円増加しました。主な増加要因は短期借入金23億33百万円、支払手形及び買掛金2億10百万円であり、主な減少要因は前受金7億15百万円であります。固定負債は71億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億26百万円減少しました。主な減少要因は長期借入金3億86百万円であります。その結果、負債は265億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億47百万円の増加となりました。

## (純資産)

純資産は139億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億34百万円減少しました。その結果、自己資本比率は33.8%（前連結会計年度末は35.3%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により日本を含む各国の経済活動が制限され、現時点において、顧客の設備投資及び生産動向を予測するのは非常に困難な状況です。2021年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,531	8,703
受取手形及び売掛金	12,469	10,774
有価証券	0	0
商品及び製品	1,073	1,121
仕掛品	8,341	8,753
原材料及び貯蔵品	1,423	1,486
その他	859	1,083
貸倒引当金	△148	△70
流動資産合計	30,552	31,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,165	4,777
減価償却累計額	△3,206	△2,887
建物及び構築物(純額)	1,959	1,889
機械装置及び運搬具	2,202	2,122
減価償却累計額	△1,739	△1,554
機械装置及び運搬具(純額)	462	567
工具、器具及び備品	3,483	3,303
減価償却累計額	△3,067	△2,881
工具、器具及び備品(純額)	415	422
土地	3,610	3,600
リース資産	264	259
減価償却累計額	△111	△118
リース資産(純額)	153	141
建設仮勘定	157	165
有形固定資産合計	6,759	6,787
無形固定資産		
のれん	299	269
ソフトウェア	80	78
リース資産	44	41
電話加入権	20	20
その他	5	5
無形固定資産合計	450	414
投資その他の資産		
投資有価証券	393	406
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	781	804
長期滞留債権等	188	188
その他	221	206
貸倒引当金	△213	△213
投資その他の資産合計	1,373	1,393
固定資産合計	8,583	8,595
資産合計	39,135	40,448

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,754	5,965
短期借入金	8,322	10,656
リース債務	66	63
賞与引当金	363	356
製品保証引当金	82	69
未払費用	404	357
前受金	1,603	887
1年内償還予定の社債	700	700
その他	148	265
流動負債合計	17,446	19,320
固定負債		
長期借入金	5,439	5,053
長期未払金	81	77
リース債務	158	141
繰延税金負債	96	97
退職給付に係る負債	1,160	1,185
資産除去債務	63	48
事業整理損失引当金	592	565
その他	30	28
固定負債合計	7,623	7,196
負債合計	25,070	26,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,801	2,801
資本剰余金	3,635	3,635
利益剰余金	8,296	8,183
自己株式	△600	△600
株主資本合計	14,132	14,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27	△21
為替換算調整勘定	△298	△321
退職給付に係る調整累計額	11	10
その他の包括利益累計額合計	△314	△332
新株予約権	51	51
非支配株主持分	195	192
純資産合計	14,065	13,930
負債純資産合計	39,135	40,448

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,351	5,279
売上原価	4,577	4,260
売上総利益	774	1,018
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	432	459
賞与引当金繰入額	59	30
福利厚生費	20	20
賃借料	43	52
業務委託費	28	30
研究開発費	117	101
減価償却費	55	43
その他	395	280
販売費及び一般管理費合計	1,153	1,020
営業損失(△)	△378	△1
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	19	43
受取賃貸料	3	4
その他	13	17
営業外収益合計	39	68
営業外費用		
支払利息	23	30
為替差損	41	10
その他	4	16
営業外費用合計	69	56
経常利益又は経常損失(△)	△409	10
特別利益		
固定資産売却益	0	34
その他	—	4
特別利益合計	0	38
特別損失		
固定資産除売却損	0	3
その他	0	0
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△409	45
法人税、住民税及び事業税	17	94
法人税等調整額	33	△23
法人税等合計	51	70
四半期純損失(△)	△461	△25
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△458	△23

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△461	△25
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	5
為替換算調整勘定	8	△23
退職給付に係る調整額	0	△0
その他の包括利益合計	2	△18
四半期包括利益	△458	△43
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△455	△41
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△2



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メカトロニク ス関連事業	ディスプレイ 関連事業	産業機器 関連事業	電子機器 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	1,833	1,651	449	1,416	5,351	—	5,351
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	0	—	0	1	△1	—
計	1,833	1,652	449	1,416	5,353	△1	5,351
セグメント損失 (△)	△80	△261	△14	△43	△399	20	△378

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額20百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等197百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△176百万円であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メカトロニク ス関連事業	ディスプレイ 関連事業	産業機器 関連事業	電子機器 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	2,452	1,134	223	1,468	5,279	—	5,279
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1	—	2	4	△4	—
計	2,452	1,136	223	1,471	5,283	△4	5,279
セグメント利益 又は損失(△)	123	△138	△47	1	△60	58	△1

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額58百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等208百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△149百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。